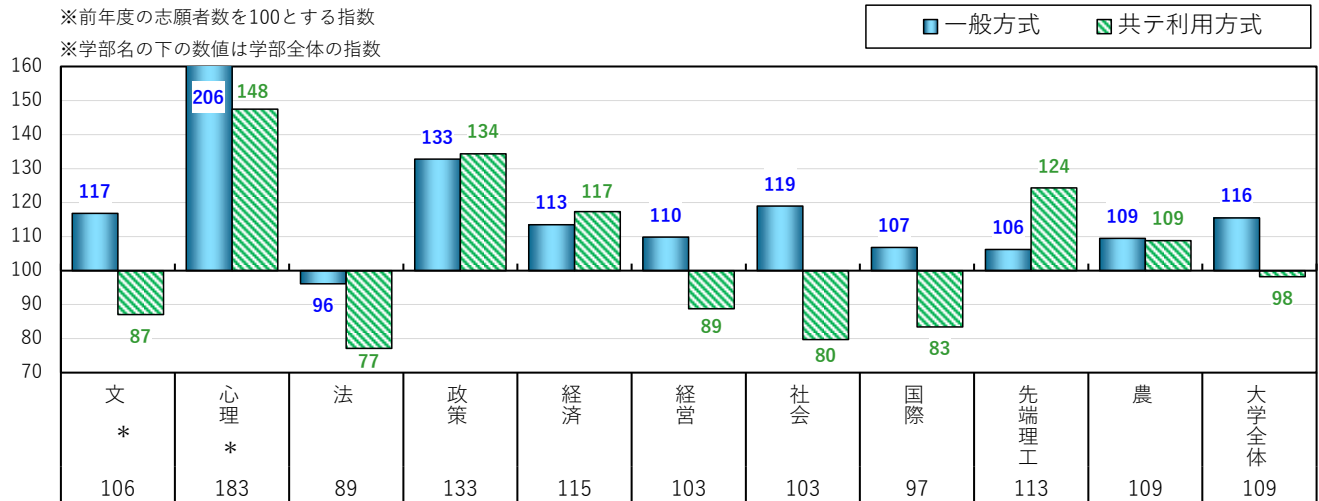


龍谷大：大学全体では増加、志願者数は6万人を上回った 一般：+5,567人 共テ：-364人



* 文は2022年度の(臨床心理)を除いた志願者数との比較、心理は2022年度の文(臨床心理)との比較

主な入試変更点

学部改組：文(臨床心理)→心理(心理)
 学科名称変更：農(植物生命科学)→(生命科学)、(資源生物科学)→(農)
 出願方法：1日最大4併願可(※先端理工学部のみ最大6併願可)→1日最大6併願可
 選抜方法：全学部…<共テ併用(英語外部試験利用)>を新規実施 利用方法：得点換算
 心理(心理)…<前期・共テ併用数学方式>、<共テ・中期数学1教科方式>を新規実施
 農(農)…<一般・前期文系(スタンダード方式、高得点科目重視方式)>廃止、
 <共テ併用・文系2科目方式>廃止
 入試科目：心理(心理)<共テ・前期3科目方式>、<共テ・中期3科目方式>…国+外+(歴公 or 数① or 数② or 理・理基2)
 →外+(国 or 歴公 or 数① or 数② or 理・理基2)→2

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1日の最大併願数が6併願まで可能になったことも影響し、5,203人(109)の増加。学部別では、新設の心理の旧文(臨床心理)との比較を含めて、10学部中8学部が増加。政策(133)、経済(115)は大幅増加。法(89)は減少。方式別では、一般方式は5,567人(116)の大幅増加で4年ぶりの増加。一方で、共通テスト利用方式は新規方式を実施したものの、364人(98)の微減。

<一般方式>

- 文(117)は、学部改組の旧(臨床心理)を除いた比較で大幅増加。学科・専攻別では、10学科・専攻中8学科・専攻が増加。特に、(歴史/仏教史学)(189)は3年連続減少の反動で激増、(歴史/東洋史学)(179)は前年度40%の大幅減少の反動で大幅増加、(英語英米文)(145)も大幅増加で2年連続増加。一方で、(日本語日本文)(94)はやや減少で4年連続減少、(歴史/日本史学)(94)もやや減少で2年連続減少。
- 心理(206)は、旧文(臨床心理)との比較で倍増。ただし、学科から学部の改組で募集人員が2.5倍となり志願者数増加率を上回ったことで、志願倍率は29.6倍→24.4倍へダウン。
- 法(96)は、やや減少で2年連続減少。方式別では、<前期高得点>(109)は増加だが、その他の方式はいずれも減少。
- 政策(133)は、4年ぶりの大幅増加。方式別では、全ての方式で増加、特に<前期高得点>(155)、<後期高得点>(146)、<前期スタンダード>(134)、<中期高得点>(129)は大幅増加。
- 経済(113)は、2年連続減少の反動で増加。方式別では、<前期高得点>(132)、<前期スタンダード>(117)、<中期高得点>(116)は大幅増加、<中期スタンダード>(108)は増加。一方で、<後期高得点>(64)、<後期スタンダード>(67)は大幅減少。
- 経営(110)は、前年度大幅減少の反動で増加だが、志願者数は2年連続5,000人を下回った。方式別では、<後期高得点>(176)は激増、<後期スタンダード>(153)、<前期高得点>(128)は大幅増加、<前期スタンダード>(112)は増加。一方で、<中期スタンダード>(84)は大幅減少、<中期高得点>(91)は減少。
- 社会(119)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(社会)(131)は大幅増加で前年度の反動による増減が継続、(コミュニティマネジメント)(130)も大幅増加で前年度大幅減少の反動。一方で、(現代福祉)(92)は減少。
- 国際(107)は、やや増加で5年ぶりの増加。学科別では、2022年度前期から海外留学を再開した(グローバルスタディーズ)(108)は、前年度大幅増加に引き続き増加。(国際文化)(106)はやや増加だが、志願者数は2年連続2,000人を下回った。
- 先端理工(106)は、やや増加で2020年度の改組以降初めての増加。課程別では、(応用化学)(121)、(数理・情報科学)(120)は大幅増加、(機械工学・ロボティクス)(108)は増加。一方で、(環境生態工学)(97)、(知能情報メディア)(97)はやや減少、(電子情報通信)(99)は微減。
- 農(109)は、3年ぶりの増加。学科別では、(食料農業システム)(135)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(植物生命科学)から名称変更した(生命科学)(123)は2年連続大幅増加。一方で、(資源生物科学)から名称変更した(農)(91)は減少、(食品栄養)(93)もやや減少でいずれも3年連続減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(87)は、学部改組の旧(臨床心理)を除いた比較で減少。学科・専攻別では、(仏教)(108)は増加で7年連続増加、志願者数

- は 200 人を上回った。(英語英米文)(103)はやや増加、(歴史/日本史学)(102)は微増でいずれも 3 年連続増加。その他の 7 学科・専攻はいずれも減少で、特に(歴史/文化遺産学)(69)は 30%以上の大幅減少。
- 心理(148)**は、旧文(臨床心理)との比較で 3 年連続大幅増加。学科から学部の改組で募集人員は 70%増加となり志願者数増加率を上回ったため、志願倍率は 33.3 倍→29.0 倍へダウン。
 - 法(77)**は、2 年連続大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、<共テ併用・中期 3 科目>(105)はやや増加で 2 年連続増加、<共テ・前期 4 科目>(100)は前年度並。その他の方式はいずれも減少で、特に<共テ併用・後期>(35)は激減。
 - 政策(134)**は、2 年連続大幅増加。志願者数は 1,400 人を上回った。方式別では、<共テ・前期 2 科目>(212)、<共テ併用・中期 3 科目>(207)は倍以上。一方で、<共テ併用・後期>(65)、<共テ・後期>(80)は大幅減少。
 - 経済(117)**は、大幅増加で 3 年連続増加。志願者数は 2,000 人を上回った。方式別では、特に<共テ併用・前期数学>(256)、<共テ・中期数学 1 教科>(246)は倍以上で目立った。
 - 経営(89)**は、2 年連続増加の反動で減少。方式別では、<共テ・後期>(171)は激増、<共テ・前期 4 科目>(150)は大幅増加、<共テ併用・中期 3 科目>(113)は増加、その他の方式はいずれも減少。
 - 社会(80)**は、前年度倍増の反動で大幅減少。学科別では、(コミュニティマネジメント)(74)、(社会)(75)は大幅減少、(現代福祉)(92)は減少でいずれも前年度激増の反動。
 - 国際(83)**は、2 年連続大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(国際文化)(82)は大幅減少、(グローバルスタディーズ)(86)は減少で、いずれも前年度大幅増加の反動。
 - 先端理工(124)**は、大幅増加で旧理工から引き続き 6 年連続増加。課程別では、6 課程全てで増加。(環境生態工学)(103)のみやや増加だが、その他の 5 課程はいずれも大幅増加。
 - 農(109)**は、増加で 5 年連続増加。学科別では、(植物生命科学)から名称変更した(生命科学)(136)は 5 年連続大幅増加。(食料農業システム)(107)は前年度激増の反動はなくやや増加で 5 年連続増加。一方で、(食品栄養)(97)はやや減少、(資源生物学)から名称変更した(農)(98)は前年度並。